

大阪湾漁場環境速報

平成20年 9月 5日発行
兵庫のり研究所

今回調査は湾北部のみで、その他は欠測しました。
(水温) 表層は湾内24~25 台で、平均**25.4**。 平年(過去10年平均26.4)比1.0、 昨年(26.7)比1.3 それぞれ低い。 -10m層は平均**25.1** で、平年(25.8)比0.7 低い。 今回調査では、表層と-10m層の水温差は最大**1** でこの時期としては小さく、湾奥部でも強い成層は観測されなかった。
(塩分) 表層平均**31.86**psu(平年 30.89)。 -10m層平均**32.36**psu(平年 32.12)。
(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均**2.8** $\mu\text{g-at/L}$ 、リン濃度は平均**0.46** $\mu\text{g-at/L}$ 。 窒素は平年(4.2)より低く、リンは平年(0.46)並の値を示している。 -10m層(平均)は、窒素**4.0** $\mu\text{g-at/L}$ 、リン**0.55** $\mu\text{g-at/L}$ 。 神戸空港周辺~湾奥部でキートセロス、ユーカンピアなど多種の珪藻が発生している。 また、明石海峡周辺部を中心に大型珪藻コシノディスカス (*C. wailesii*) の発生量も多かった(分布図参照)。 透明度は明石海峡周辺部で10.0~13.0m、その他で2.0~3.5mで平均**8.8**m。 pHは表層平均**8.19**。 溶存酸素飽和度(DO)は、湾奥部(018)の-10m層で30%台まで低下していた。

上段(今回値)	平成20年9月4日調査
中段(昨年値)	平成19年9月1日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温()	塩分(psu)	三態窒素($\mu\text{g-at/L}$)	磷酸($\mu\text{g-at/L}$)
04				
	26.3	32.42	2.8	0.37
	25.2	32.63	4.8	0.65
05	26.2	32.39	3.8	0.54
	26.3	32.15	4.1	0.50
	25.6	32.55	5.5	0.74
06	26.1	32.25	5.9	0.58
	26.0	31.96	4.4	0.46
07				
	27.1	32.03	2.9	0.41
08				
	27.1	32.08	2.7	0.43
09				
	27.0	32.13	2.9	0.41
010				
	26.7	31.91	3.1	0.45
012				
	27.1	30.64	1.9	0.25
013				
	27.2	30.52	4.8	0.47
	25.5	30.58	0.9	0.28
016	27.4	27.53	7.2	0.88
	26.8	28.96	5.9	0.60
017				
	27.2	29.10	30.5	1.04
018	24.8	31.74	4.9	0.73
	27.2	26.28	32.9	2.77
	27.1	25.94	27.9	2.29
S1	25.4	32.17	0.6	0.29
	26.2	32.01	2.5	0.36
	26.2	31.01	2.7	0.38
S2	25.7	30.59	0.7	0.16
	27.3	27.73	8.0	0.87
	26.5	29.49	5.5	0.48
S3	25.0	32.66	4.5	0.61
	26.7	31.80	0.5	0.38
	26.6	31.77	2.3	0.36
S4				
	26.5	32.36	2.4	0.34



